

歯科衛生士学科午前部・夜間部 3つのポリシー

ディプロマポリシー

歯科衛生士学科は、「多様化する歯科保健医療に関するニーズを把握し問題解決をすべく、自ら専門性を高め、チームを牽引できる人材」を養成目的としているため、卒業までに身につけるべき資質を以下に示します。

1. 多業種と連携するために必要なコミュニケーション能力を身につけている。
2. 保健・医療・福祉で起こる様々な事象に自ら気づき、対応できる。
3. 歯科衛生士として必要とされる知識・技能を身につけている。
4. 医療従事者として、社会に貢献するマインドを身につけている。

カリキュラムポリシー

実践力を持った歯科衛生士を育成するための職業人教育のカリキュラムを提供します。

プログラムの柱を以下に示します。

1. 国家試験に合格し、歯科衛生士として活躍できる知識・技術はもちろん保健・医療・福祉現場において、多角的な立場で考え、行動する力を身につけられる学びを提供します。
2. 現在および今後の日本社会においてニーズの高まりが約束される分野をコース選択できるプログラムにて提供し、変化に対応する力を育みます。
3. 臨地臨床実習を通じて、経験から学ぶ力を身につけます。

アドミッションポリシー

歯科衛生士学科は「歯科衛生士国家資格」を取得する強い意志と保健医療福祉分野に関心を持つ以下のような入学者を受け入れます。

1. 「歯科衛生士」を目指す明確な動機を持ち、目標を達成するための努力ができる人。
2. 自ら考え、自ら勉強する力を養う能動型の授業を取り組むに必要なコミュニケーション能力を持つ人。
3. 歯科衛生士業務を遂行する意欲のある人。